

登山計画書

- 目的山名 札幌岳 (1,293m)
- 期 日 2011年9月12日 (月)
- 出発場所・時間 定山溪第一ホテル 8:10 登山口出発予定 8:40 登山口帰着予定 14:50
- 冷水小屋から展望の稜線へ

札幌岳は西側にのびやかな稜線を持ち、札幌南部からもよく目立つ。山名は豊平川の水源地であることに由来しているようだ。明治以前豊平川はアイヌ語でサツ・ポロ・ペツ (乾く・大きな・川) と呼ばれていたという。コースは前半が冷水沢沿いの道で爽快だ。標高 750m 付近は「台風高原」と呼ばれるトドマツとダケカンバの再生林を通り数回の渡渉を経て冷水小屋に着く。ここから急登が始まる。山頂に近付くにつれ枝ぶりのよいダケカンバの林となる。山頂からは定山溪の山々や札幌市街の展望が抜群。

■ コースとタイム

定山溪 8:10⇒(R230、6km、0:15)⇒8:30 冷水トンネル手前 8:40⇒(1:30)⇒冷水小屋⇒(1:30)⇒札幌岳
⇒(1:00)⇒冷水小屋⇒(1:00)⇒14:50 登山口 15:00⇒(R230~R66~R5、88.7km、2:40)⇒17:00 ニセコ・五色温泉旅館

◆ 目標所要時間：歩行時間 5 時間 30 分+昼食休憩 40 分=6 時間 10 分



① 登山口の駐車場は十分な広さがある



② 冷水沢沿いの登山道。沢音を聞きながらの快適なコースだ



③ 曇気のない冷水小屋。ここに泊まってゆっくり登るのもぜいたく

